

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

事務事業名		学校振興事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000208	
						単独/補助	単独			
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	090101	
総合計画の施策名		O201 学校教育の充実							学校教育課	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名		
施策名		O1 学校教育の充実						グループ	総務グループ	
手段名		O2 ②教育体制の充実						担当者名		
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	02	02	00	00	単年度繰返し (平成17年度～)			
法令根拠							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市内小、中、義務教育学校の、教育振興に伴う必要な学校予算を精算し、より良い学校経営及び学級経営を目指して予算要求をおこなう。また、速やかな予算執行管理をおこなう。児童生徒の学力向上、個に応じた指導の一層の充実を図り、教職員等に必要な教育環境を整え、将来を担う子どもたちの育成に努める。 ※小学校・中学校・義務教育学校 3つの振興事業の合算。	児童数の把握、学級数の把握、教職員の配置把握、予算要求事務、予算執行事務、決算事務、契約関係 (見積書徴収・契約・支払事務)。 ※事業費 (30年度) のその他 (5,000千円) は、雨引小限定での寄付金。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
児童数の把握、学級数の把握、教職員の配置把握、予算要求事務、予算執行事務、決算事務、契約関係 (見積書徴収・契約・支払事務)。	小学校教育振興に伴う予算額	千円	2,244.00	1,578.00	1,578.00	1,578.00	0.00
	中学校教育振興に伴う予算額	千円	3,230.00	2,850.00	2,850.00	2,850.00	0.00
	義務教育学校教育振興に伴う予算額	千円	1,475.00	1,725.00	1,725.00	1,725.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
小学校・中学校・義務教育学校	市内の学校数	校	14.00	14.00	14.00	14.00	0.00
	市内学校の学級数 (特別支援学級含む)	学級	143.00	143.00	143.00	143.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
教育振興に必要な予算を執行することで、児童生徒の学習意欲が向上し、教職員の指導方法改善を助ける。	教職員の指導方法改善が図られた学校数	校	14.00	14.00	14.00	14.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	5,000	0	0	0
	一般財源	千円	8,201	6,159	6,100	0
	事業費計 (A)	千円	13,201	6,159	6,100	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
08 報償費	1,154			
11 需用費	1,246			
14 使用料及び賃借料	2,559			
18 備品購入費	1,200			
	合計	6,159		合計 6,100

事務事業名	学校振興事業	事務事業No.	20102000208	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 学校に配分する予算とは別に、学校教育課で一括管理する振興事業関連予算について、合併前より引き続き実施してきた。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 教育予算の増額について、校長会や教職員組合などからの要望がある。					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 小、中、義務教育学校の教育振興に必要な予算管理を行うことができ、教育環境の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援は市の責務であり、将来を担う子どもたちの育成に必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 教育振興予算を計上することにより、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を推進することで、学校現場での成果向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 教育環境を整え、児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助ける支援を行うことができなくなり、学校現場での成果向上が期待できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の予算で行っている。国・県の教育指導方針や学習指導要領等の改訂に伴い事業費増になる場合もある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童・生徒の学習意欲、教職員の指導方法改善を助けるうえで、教育振興に必要な予算を整えることを目的としているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)															
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予算執行に関わる事務は、学校の予算科目や予算配分の均衡を図るため、市財政課と毎年協議をして前年度の課題に対応して次年度へ結びつけている。小・中学校振興事業予算内において、学校で予算管理するもの、学校教育課において予算管理するものを区分し、予算執行事務の効率化を進めてきた。														
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下				
成果	向上		削減	維持	増加										
	維持		○												
低下															
(6) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果 <input checked="" type="radio"/> 9														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/> 確認